

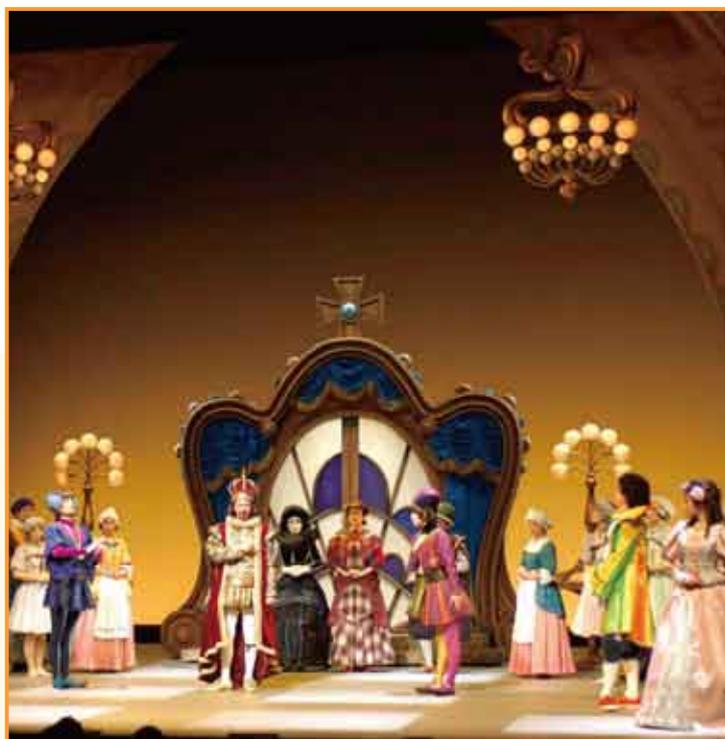
地域の情報や身近な話題、
耳寄りな情報を
どしどしお待ちしております！

★ 劇団四季ミュージカル 皆が楽しめるファンタジー

2月5日、劇団四季ミュージカル『はだかの王様』が長島町文化ホールで公演されました。

『はだかの王様』は世界中の人々に愛されたハンス・クリスチャン＝アンデルセンの童話をもとに書き下ろされたミュージカルです。登場したのは、王女サテン、外務大臣モモヒキ、戦争大臣ブルーマー、デザイナー・フリルフリルなど、ちょっと変わった名前の個性あふれる人物たち。案内役は、こどものホックとおとなのアップリケが務めました。このミュージカルはおともと一緒に楽しむことができ、劇団四季ならではの、だれもが楽しめる一級のファンタジーとなりました。

会場には満席となる800人が詰めかけ、俳優の素晴らしい演技と本格的な舞台に魅了されました。



↑舞台の一場面（写真提供：劇団四季）

★ ツルの北帰行 最も早い旅立ち

出水平野で冬を過ごしたツルたちが、シベリアを目指す北帰行が1月下旬から始まりました。今年は1月27日に北帰行が始まり、これは統計を始めた昭和39年以降最も早い旅立ちだそうです。

北帰行するツルを眼下に見下ろせる場所として知られる行人岳山頂は、連日、写真家や見物客らでにぎわいを見せています。

北帰行は毎日見れるわけではなく、「快晴で北東の微風、午前8時から正午までが最高の条件」と常連客らは話します。条件のよい日には、十数羽から数百羽でグループをつくるツルたちが、行人岳や長島海峡付近で何度も旋回し、上昇気流に乗って天草、長崎方面へ次々と旅立って行きます。

ツルの北帰行は、3月いっぱい続きます。



↑太陽の里付近を通過するマナヅルたち

←北帰行を撮影するためにズラリと並んだ大型の望遠カメラ